

十字架の恵みがわかれば(マルコ 14:27-42)

十字架を前にしてイエス様は「悲しみのあまり死ぬほど」と言われました。それは、十字架は避けられない絶対の道だからこそその悲しみであり、人の理解を超える神様の悲しみです。しかし、弟子たちはイエス様が十字架にかかるとは夢にも思っていないで

1. 十字架の奥義を知ると、真に謙虚になり、自由になれる。

1) 無知な弟子たちの生意気な勇氣

十字架での死を信じていないので、十字架の奥義がわからなかったペテロは、「そんなことはありえない。私は死ぬことがあってもイエス様に従う」と生意気な勇氣を持っています。

2) 無知な弟子たちの意地の限界

どんなにペテロが強く主張しても、意地には限界があります。

3) 無知な弟子たちの比較意識

また、十字架の奥義を知らないと、他の人と比較して、自分を評価します。できると思うことも、否定的にできないと思うことも、同じです。

4) 十字架の前での謙虚(ローマ 7:24、ピリピ 3:8)

十字架の奥義が分かり、十字架の前に立つと、謙虚になります。パウロは「この死のからだ」と言い、「キリスト以外はちりあくた」だと言いました。主張することも、頼ることもないということです。

5) 十字架の前での自由(ガラテヤ 2:20、1コリント 1:30-2:2)

神様ご自身が「悲しみのあまり死ぬほど」と

言われ「できることなら、避けたい」と言われたことが理解できるなら、私たちには希望はまったくないと認めるようになります。それゆえ謙虚になり、自由になります。パウロは、自分は死んでキリストが生きておられると言ひ、誇れるものはなにもなく、ただキリストだけを誇ると言いました。自分、世の中の評価から自由になるのです。

2. 十字架の恵みを受けると、死の恐怖に打ち勝つ平安の中で主に従う兵士となる。

十字架の恵みは、いまも注がれているので、死の恐怖に打ち勝つ兵士として歩むようになります。

1) 十字架の前でみんな逃げて散った。

しかし、恵みを受けると死があっても恐れず、世が与えることができない平安を保つことができます。主に従ひ、この世を生かす証人として歩むようになるのです。その証拠が初代教会の信徒です。

2) ヨハネ 19:30 の成就

イエス様は十字架で「完了した」と言われました。そのみことばが成就することを体験します。十字架の恵みを受けると、どんなこと、過去も、すべて終わったということを知ようになります。

ヨハネ 16:33 のメッセージ

「わたしは世に勝ったのです」と宣言されたことが私のことになります。迫害や苦難にも打ち勝てます。

ローマ 8:1-2 の確信

解放されたことを確信します。いのちの御霊の原理で、罪と死の原理が終わりました。

1コリント 15:55-57 宣言

死に対して「おまえの勝利はどこにあるのか」と宣言できるようになります。

3) 証拠

詩篇 23:4、ダニエル 3:16-18、6:10、使徒 4:12、7:59、ローマ 8:38-39

その証拠は、ヘブル 11 章に出ています。ダビデは死の陰の谷を歩むときがあっても、十字架の恵みがわかりました。ダニエルは殺されると分かっている、いつものように祈りました。三人の青年は、たとえそうでも、つまり死んだとしても、かまわないと言いました。ペテロは死を恐れず、天の下にこの御名の他に救われるべき名は与えられていないと言いました。ステパノは、勝利の主を見ながら死んで行きました。ステパノは眠りについたと言われていました。パウロは、どんなことも神様の愛から切り離すことはできないと言います。これが、十字架の恵みを受けることです。

4) 覚悟

ヨハネ 14:27、使徒 1:7-8、ピリピ 1:20-23
十字架の恵みを受けると感謝と確信が生ま

れます。この世が与えるのはちがう平安を保つ主人公としての確信です。イスラエルの国の再興がユダヤ人にとっては、大きなテーマでしたが、イエス様は「それは知らなくても良い」と言われます。問題がいろいろあっても、それにこだわることなく、聖霊が臨むと力を受けて証人となるのです。私たちが地上に生きているのは、他のたましいが救われるため以外、なにもありません。福音が全世界に宣べ伝えられてから、終わりが来ます。知らなくても良いことにこだわらず、ただ聖霊に向かい、集中しましょう。そうすれば、初代教会で現れた神様の働きが見えるようになります。

十字架を通して自分から自由になり、だからキリストになりましょう！十字架を通して条件や環境、状況から自由になり、だから聖霊になりましょう！そして、いかなる時も証人の契約を忘れずに、さらに強く握りましょう！

1 部-マルコ 14:27-42

十字架の恵みがわかれば

なるほど/十字架の奥義を知ると真の謙虚と自由に預かり、十字架の恵みを受けると死の恐怖にも勝てる勇氣をもって主に従う証人の道を歩く。

ならば/十字架の前で自分から自由になり、条件、状況から自由になって、だからキリスト、聖霊になろう！

2 部-マタイ 16:13-20 信者の祈り

なるほど/教会が3つの庭をもち、金土日時代に備え、70人弟子を育てる教会になるように祈ることは、信者の喜びであり特権である。

ならば/教会の価値を改めて、神様が望まれる教会になるように祈り献身をする信者になろう！